

先月、東京証券取引所に上場するメーカーから、「アルバトロス社についてほしい」とJOIに問い合わせが入りました。聞けば、アルバトロス社が有する技術やコンセプトに関心があり、将来のコラボレーションを見据えて、技術利用や製品開発に向けて協議したいとのことでした。

アルバトロス社は、JOIが2020年7月号のビジネス情報誌「海外投融資」で掲載した浮遊軸型風車（浮体式に特化した垂直軸型風車で、先月にはNHKの番組でも取り上げられました）、潮流・海流発電、波力発電などの海洋再生可能エネルギーを手がけるベンチャー企業で、正式名称を合同会社アルバトロス・テクノロジーと言います。早速JOIからアルバトロス社の秋元CEOに連絡を入れてマッチングを行い、すでに両社のコラボレーションの協議がスタートしています。海洋再生可能エネルギーの分野にビジネスチャンスを見出す両社から、創造性豊かなアウトプットが生み出されればと切に願います。

JOIは、会員に向けてビジネス情報誌の発行、実務セミナーの開催やカスタムメイド型の企業研修の提供などを行っておりますが、本誌に掲載されたベンチャー企業などへの橋渡しも行っています。特にJOI Ventures（今月号：33ページ参照）では、JOIの会員である在京大使館とともに、日本にまだ進出していないけれど有望な技術を有するベンチャー企業などを見つけ出して発信しておりますので、企業とのマッチングを希望される場合は、いつでもご連絡ください。

常務理事 田丸伸介

海外投融資

Vol.31 No.3（通巻183号）
2022年5月25日発行

発行
一般財団法人 海外投融資情報財団

発行人
長田 薫
〒102-0073
東京都千代田区九段北二丁目
3番6号 九段北二丁目ビル
TEL. 03-5210-3311（代）
URL. www.joi.or.jp

制作協力
(株)エディポック

*本誌に掲載されている記事の内容や意見は、海外投融資情報財団の公式見解を示すものではありません。

●禁 無断転載

All rights reserved. No part of this magazine may be reproduced in any form or in any means without written permission from the publisher.
©Japan Institute for Overseas Investment Printed in Japan



九段だより 世界3大がっかりスポット？

「世界3大がっかりスポット」なる言葉がある。一般には、コペンハーゲンの人魚姫、ブリュッセルの小僧小僧およびシンガポールのマーライオンをさすとのこと。

縁あってこれら3つのスポットを訪れたことがあるが、期待値を下げたうえで訪れたためか、がっかりまではしなかったものの、正直、感動を覚えるほどのものではなかったように記憶している。

もっとも、筆者がこれまでに訪れた数多くの観光スポットを思い返すに、訪れた瞬間に目の覚めるような感動を覚えた経験はあまりない。多くの場合は、かつて見た写真などと同じ（当たり前なのだが）であることを確認した後、「ふーん」と思いつつ見学、あるいは写真を撮っておしまいだったように思う。

そうした、がっかりとまでは行かないが、平凡な観光スポットのことを考えていると、かつて長篠の合戦の古戦場を訪れた際のことが思い起こされた。

古戦場自体は田畑の中に石碑などが設置されているだけの、どこにでもあるような平凡な場所で、客観的にみて魅力満載と言うにはほど遠いものだった。しかしながら、子どものころに織田信長に心酔したことのある筆者は、そこに身をおくだけで、脳裏に火縄銃の銃声、関^{とき}の声、馬のいななきが響きわたり、また、足元を流れる、これまた平凡な小川を前に「ああ、これが武田騎馬隊に立ちはだかった連子川か！」と感慨を覚えたりと、高揚感につつまれたよ

うに記憶している。

つまりは、観光スポットも情報と同じで、それを受け止める側に心の準備ができていない場合には、魅力や価値が生まれにくいものなのかもしれない。

実は筆者は、本稿の下調べの過程で、コペンハーゲンの人魚姫の像の下半身の大半が、魚ではなく2本脚であることを初めて知った。往訪した際に、いかに適当な姿勢で見学していたことかと反省しきりである。そこで反省ついでに、ハンス・クリスチャン・アンデルセンの名作童話『人魚姫』を読んでみた。すると、この人魚姫の像が、愛する王子を追い求めて、身命を賭して下半身を2本脚に変えた童話の主人公マリーナに重なり、像の魅力が心に染みしてくるのを感じた。機会があれば、この思いを胸に、再びデンマークの人魚姫の像を訪れてみたいと思う。

(注) 現在、長篠の合戦の古戦場は、石碑以外に合戦当時の馬防柵が再現されるなど、少なくとも平凡な場所ではなくなっているとのこと。古戦場の名誉のため付言しておく。

専務理事 長田 薫